

# 事業概要

令和2年度  
(令和元年度実績)

徳島県食肉衛生検査所  
徳島市不動本町2丁目140-3  
TEL 088-633-8277  
FAX 088-633-8275

# 目次

## 第1章 総説

1	沿革	2
2	組織・機構	3
3	職員構成	3
4	施設の概要	4
5	食肉衛生検査所及びと畜場の所在地	5
6	徳島県食肉衛生検査所設置条例	6
7	と畜検査手数料	6
8	所長決裁の範囲	7
9	主な検査機械器具一覧	8
10	と畜場の概要	9

## 第2章 と畜検査事業

1	と畜検査事業の概要	11
2	と畜場別検査状況	12
3	月別検査状況	13
4	と畜検査結果に基づく処分	14
5	とさつ解体禁止及び全部廃棄の疾病別頭数	15
6	全部廃棄処分の疾病別内訳	16
7	病畜検査頭数及び精密検査件数	17
8	と畜検査の保留検査状況	18
9	残留抗菌性物質検査状況	18
10	と畜検査頭数の推移	19

## 第3章 乳肉食品等検査事業

1	乳肉食品等検査事業の概要	21
2	乳肉食品等の試験検査件数	21
3	残留有害物質モニタリング検査件数	22
4	枝肉及び施設等の拭き取り検査件数	23
5	放射性物質検査	23

## 第4章 牛海綿状脳症対策事業

1	牛海綿状脳症対策事業の概要	25
2	牛海綿状脳症(BSE)スクリーニング検査件数	25
3	めん羊・山羊の伝達性海綿状脳症(TSE)スクリーニング検査件数	25

## 第5章 食鳥指導事業

1	食鳥指導事業の概要	27
2	食鳥処理施設	27
3	食鳥処理の状況	28
4	食鳥検査羽数及び食鳥のとさつ、内臓の摘出禁止又は廃棄したものの原因	29
5	許可、変更、認定等の件数	30
6	指導等の状況	30
7	収去検査等の状況	30
8	精密検査件数	30

## 第6章 調査研究・啓発事業等

1	研修・学会等の状況	32
2	啓発事業等の状況	33

# 第1章 総説

# 1. 沿革

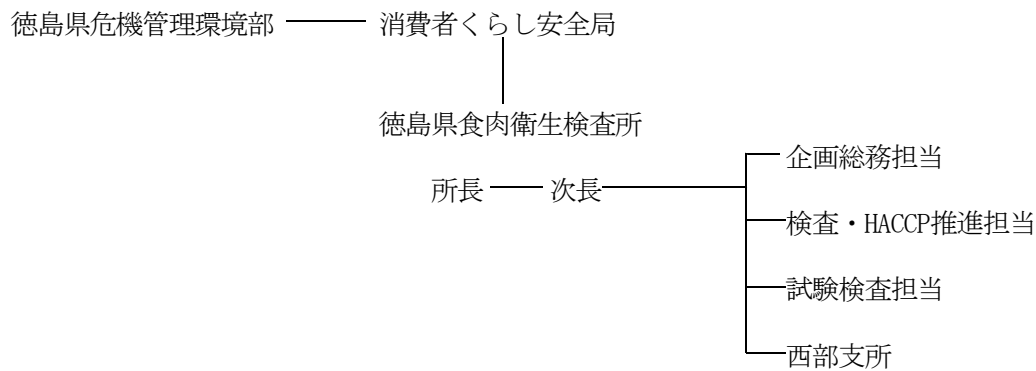
わが国の食肉検査は、明治4年大蔵省通達「屠牛取締方」に始まったとされ、また同39年「屠場法」の制定により確立されたと思われる。昭和21年、それまでは警察部局が実施していたものを衛生部局が担当し、各保健所獣医師職員が「と畜検査員」として、各々のと畜場においてと畜検査を実施する。

昭和21年当時、徳島県下には 11 カ所のと畜場（簡易と畜場を含む）が存在していたが、その後の統廃合（海南町、阿南市、吉野町、池田町等のと畜場の統廃合）により、平成3年3月末5カ所のと畜場（食肉センター）となった。

平成3年4月1日食肉検査のより高度な技術に基づく科学検査と検査体制の広域化、一元化を図るとともに、食鳥肉の衛生確保をも含めた総合的な食肉の安全確保のための検査機関として、徳島県食肉衛生検査所が保健所から分離独立し発足した。

平成3年	平成3年4月 徳島県食肉衛生検査所設置 徳島県食肉衛生検査所設置条例（平成3年3月22日徳島県条例第8号） 徳島県と畜場法施行細則（平成3年4月1日一部改正）
平成4年	管理課に「食鳥指導係」を置く 徳島県行政組織規則の一部を改正する規則（平成4年4月1日徳島県規則第33号）
平成7年	管理課精密検査係を精密検査課として設置 徳島県行政組織規則の一部を改正する規則（平成7年3月31日徳島県規則第39号） 新庁舎落成にともない検査所の位置を「徳島市不動本町二丁目」に変更する 徳島県食肉衛生検査所設置条例の一部改正（平成7年12月25日徳島県条例第59号）
平成13年	BSEスクリーニング検査開始（10月18日）
平成14年	精密検査課に「精密検査第三係」を置く 徳島県行政組織規則の一部を改正する規則（平成14年3月29日徳島県規則第43号）
平成16年	時間外と畜検査実施要綱を9月30日をもって廃止とする
平成17年	検査課に「検査第三係」を置く 徳島県行政組織規則の一部を改正する規則（平成17年3月31日徳島県規則第59号）
平成18年	検査課、精密検査課の係及び食鳥指導係を担当制とする 徳島県行政組織規則の一部を改正する規則（平成18年3月31日徳島県規則第50号）
平成19年	管理課を廃止し「企画総務課」を置き、担当制とする 徳島県行政組織規則の一部を改正する規則（平成19年4月27日徳島県規則第43号）
平成21年	と畜検査手数料改正 徳島県保健福祉関係手数料条例の一部を改正する条例 （平成21年3月26日徳島県条例第18号）
平成26年	精密検査担当を廃止し試験検査担当とする
平成29年	検査担当を廃止し検査・HACCP推進担当とする

## 2. 組織・機構



## 3. 職員構成

(R2.6.1現在)

分類		正規職員				会計年度任用職員 (フルタイム)		会計年度任用職員 (パートタイム)			計
		獣医師	薬剤師	管理栄養士	事務職	一般業務	技能労務	獣医師	専門業務	技能労務	
所長		1									1
次長					1						1
企画総務担当	課長補佐	1			1						2
	企画総務担当	3				1					4
検査HACCP担当	課長	1									1
	検査・HACCP担当	8					1	5		1	15
試験検査担当	係長	2									2
	試験検査担当	3 (1)	1	1					1		6 (1)
西部支所	支所長	1									1
	担当	2									2
合計		22 (1)	1	1	2	1	1	5	1	1	35 (1)

\* ( )は育休職員で、内数

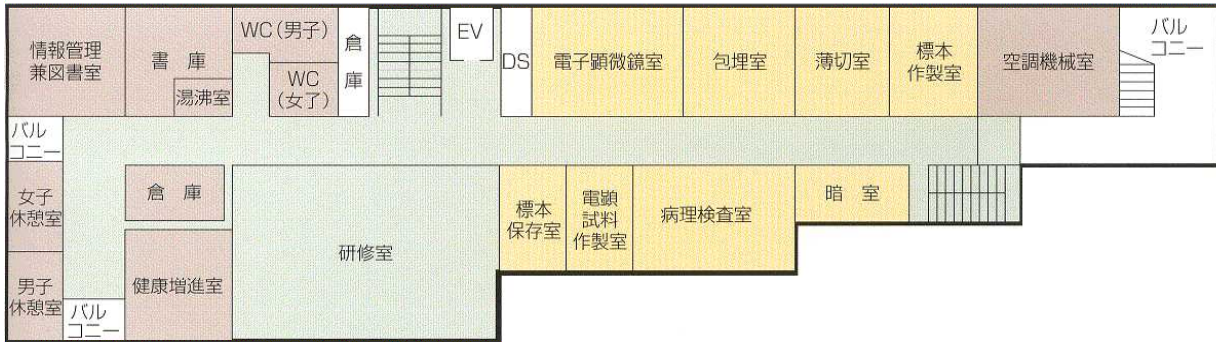
## 4. 施設の概要

### (1) 施設の概要

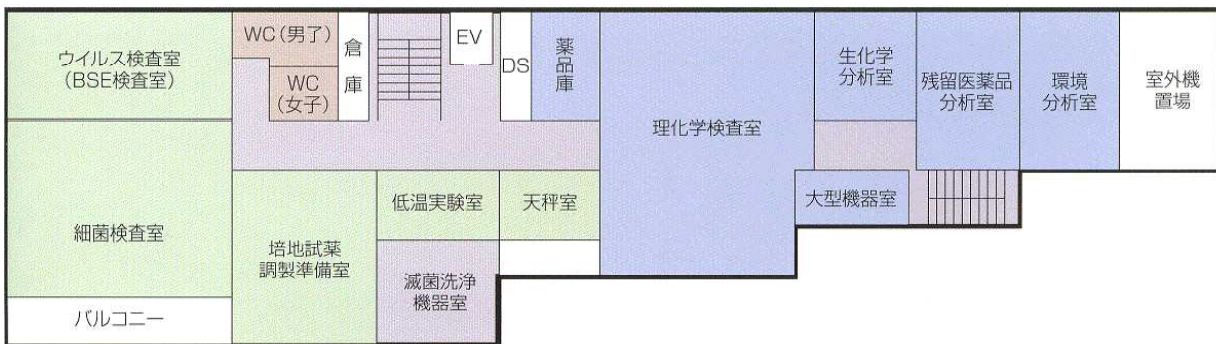
敷地面積	2,257.11㎡	管理部門	1,153.147㎡
延床面積	1,872.32㎡	理化学部門	275.273㎡
構造規模	鉄筋コンクリート3階建	微生物部門	230.700㎡
附属施設	駐車場 1,150㎡	病理部門	213.200㎡

### (2) 平面図

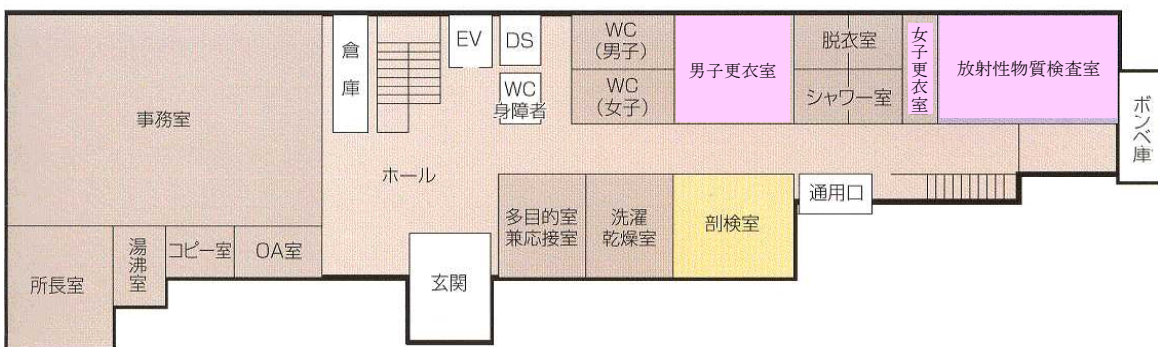
3階



2階



1階



# 5. 食肉衛生検査所及びと畜場の所在地

と畜場番号

本 所

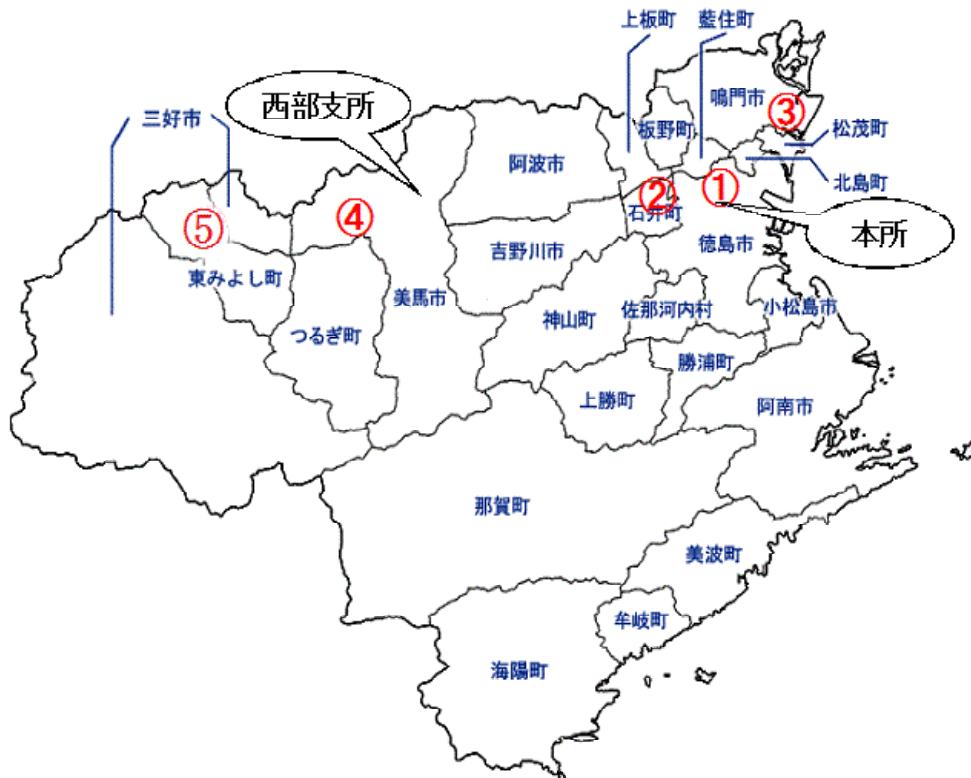
徳島県食肉衛生検査所  
 徳島市不動本町2丁目140-3  
 TEL 088 (633) 8277  
 FAX 088 (633) 8275

- 徳島市立食肉センター ①  
 徳島市不動本町3丁目1724-2  
 TEL 088 (632) 0321
- 日本ハム(株)徳島工場附設と畜場 ②  
 名西郡石井町高川原字高川原831-1  
 TEL 088 (674) 4191
- 眉山食品(株)鳴門食肉センター ③  
 鳴門市撫養町南浜字大工野51-2  
 TEL 088 (685) 8222

西部支所

美馬市脇町大字猪尻字建神社下南73  
 西部総合県民局美馬庁舎  
 TEL, FAX 0883 (53) 8477

- 美馬食肉センター ④  
 美馬市美馬町字中須82-1  
 TEL 0883 (63) 2197
- (株)にし阿波ビーフ ⑤  
 三好郡東みよし町足代890-3  
 TEL 0883 (76) 5055



## 6. 徳島県食肉衛生検査所設置条例

徳島県食肉衛生検査所設置条例（平成3年3月22日 徳島県条例第8号）

（設置）

第一条 地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第一百五十六条第一項及び第二項の規定に基づき、と畜場法(昭和二十八年法律第百十四号)に基づくと畜検査その他獣畜の処理の衛生に関する事務、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律(平成二年法律第七十号)に基づく食鳥処理の衛生に関する事務及び食品衛生法(昭和二十二年法律第二百三十三号)に基づく食品衛生に関する事務を分掌させるため、徳島県食肉衛生検査所(以下「食肉衛生検査所」という。)を設置する。

2 知事は、必要があると認めるときは、食肉衛生検査所に支所を置くことができる。  
(平一五条例三七・一部改正)

（名称、位置及び所管区域）

第二条 食肉衛生検査所の名称、位置及び所管区域は、次の表のとおりとする。

名 称	位 置	所管区域
徳島県食肉衛生検査所	徳島市不動本町二丁目	県の区域

(平七条例五九・一部改正)

附 則

この条例は、平成三年四月一日から施行する。ただし、第一条第一項中食鳥処理の衛生に関する事務及び食鳥処理場における食品衛生に関する事務に係る部分は、平成四年四月一日から施行する。

附 則(平成七年条例第五九号)

この条例は、平成八年一月一日から施行する。

附 則(平成一五年条例第三七号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成二三年条例第四八号)

この条例は、平成二十四年一月一日から施行する。

## 7. と畜検査手数料

(単位：円)

種類	牛・馬	生後1才未満の牛	200 kg以下の馬	豚・めん羊・山羊
手数料	800	500	400	300

徳島県危機管理関係手数料条例  
(平成16年 徳島県条例第39号)



## 8. 所長決裁の範囲

- 一 徳島県危機管理関係手数料条例に関する次のこと。
  - 1 第二条の規定による手数料の徴収(委任事務に係るものに限る。)
  - 2 第五条の規定による手数料の減免(委任事務に係るものに限る。)
  
- 二 と畜場法(昭和二十八年法律第百十四号)に関する次のこと。
  - 1 第四条第一項の規定によると畜場の設置の許可及び同条第三項の規定によると畜場の構造設備等の変更の届出の受理
  - 2 第五条第二項の規定による獣畜の種類及び一日当たりの頭数の制限
  - 3 第七条第六項(第十条第二項において準用する場合を含む。)の規定による衛生管理責任者等の配置又は変更の届出の受理
  - 4 第八条(第十条第二項において準用する場合を含む。)の規定による衛生管理責任者等の解任命令
  - 5 第十二条第一項の規定によると畜場使用料及びとさつ解体料の認可
  - 6 第十三条第一項第一号の規定による自家用とさつの届出の受理及び同条第三項の規定によると畜場以外の場所において獣畜をとさつし、又は解体する者に対する必要な指示
  - 7 第十四条第一項から第三項まで(同条第四項において準用する場合を含む。)の規定による獣畜のとさつ、解体等の検査
  - 8 第十六条の規定による公衆衛生上必要な限度における措置
  - 9 第十七条第一項の規定によると畜場の設置者若しくは管理者、と畜業者その他の関係者からの報告の徴収及び当該職員による立入検査
  - 10 第十八条第一項の規定によると畜場の許可の取消し又はと畜場の施設の使用の制限若しくは停止命令及び同条第二項の規定によるとさつ若しくは解体の業務の停止命令又は禁止
  
- 三 と畜場法施行令(昭和二十八年政令第二百十六号)に関する次のこと。
  - 1 第四条第二号の規定による地域の指定及び獣畜のとさつの許可
  - 2 第五条第一項第一号から第三号までの規定によると畜場外への持出しの許可
  
- 四 と畜場法施行条例(平成十二年徳島県条例第三十一号)に関する次のこと。
  - 1 第三条の規定による完了の届出の受理及び検査
  - 2 第四条の規定による届出の受理
  
- 五 食品衛生法第五十四条の規定による食品等の廃棄その他食品衛生上の危害除去のための必要な措置命令(と畜場内及び食鳥処理場内におけるものに限る。)
  
- 六 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律(平成二年法律第七十号)に関する次のこと。
  - 1 第三条の規定による食鳥処理の事業の許可
  - 2 第六条第一項の規定による食鳥処理場の構造又は設備の変更の許可及び同条第三項の規定による氏名等の変更の届出の受理
  - 3 第七条第二項の規定による地位の承継の届出の受理
  - 4 第八条の規定による食鳥処理の事業の許可の取消し又は事業の全部若しくは一部の停止命令
  - 5 第九条の規定による食鳥処理場の整備改善命令若しくは食鳥処理場の全部若しくは一部の使用の禁止命令又は食鳥処理の事業の許可の取消し若しくは食鳥処理の事業の全部若しくは一部の停止命令
  - 6 第十三条の規定による食鳥処理衛生管理者の解任命令
  - 7 第十四条の規定による廃止、休止又は再開の届出の受理
  - 8 第十五条第一項から第三項までの規定による検査
  - 9 第十六条第六項の規定による解任命令並びに同条第九項の規定による認定小規模食鳥処理業者に対する指導及び助言
  - 10 第二十条の規定による措置
  - 11 第二十五条第三項の規定による食鳥検査の実施の報告の受理
  - 12 第三十七条第一項の規定による報告の徴収
  - 13 第三十八条第一項の規定による当該職員による立入検査及び関係者に対する質問等
  
- 七 徳島県食肉衛生検査所の施設の維持及び管理の業務の委託に関する事務の処理

## 9. 主な検査機械器具一欄

機械器具名	数量	機械器具名	数量
透過型電子顕微鏡	1	リアルタイム PCR システム	2
凍結組織切片作成装置	1	PCR 増幅装置	3
写真顕微鏡システム	1	嫌気培養装置	2
密閉式自動包埋装置	1	電気泳動装置	7
落射型蛍光顕微鏡	1	電気泳動ゲル撮影装置	1
ディスクッション顕微鏡	1	パルスフィールド電気泳動装置	1
自動包埋装置	1	感染動物飼育装置	1
電顕用自動現像機	1	手指消毒器	2
臓器撮影装置	2	ストマッカー	2
真空蒸着装置	1	マイクロ冷却遠心機	4
ガラスナイフ制作機	1	乾熱滅菌器	2
ウルトラマイクロトーム	1	高圧蒸気滅菌器	5
サーベイメーター	1	微量用遠心濃縮器	1
ガンマ線核種分析測定装置一式	1	実体顕微鏡	2
ベクレルモニター	1	光学顕微鏡	2
マイクロプレートリーダー制御システム	2	デンシトメータ	1
マイクロプレートウォッシャー	4	超低温フリーザ	4
高速液体クロマトグラフ	2	細胞破碎装置	3
原子吸光分光高度計	1	CO2 インキュベーター	1
LC-MS-MS	1	恒温水槽	6
ガスクロマトグラフ装置	1	精密電子天秤	2
臨床化学自動分析装置	1	恒温器	10
高度冷却遠心分離機	2	ホモジナイザー	3
生化学自動分析装置スポットケム	1	安全キャビネット	1
紫外可視分光光度計	1	クリーンベンチ	3
分光測色計	1	pHメーター	2
超音波洗浄機	2	バイオシェイカー	1
ペリスタポンプ	1		
超純水製造装置	4		
有機溶媒回収装置	3		
オートシーケンサー	1		

## 10. と畜場の概要

と畜場 番号 区分		①	②	③	④	⑤
		名称	徳島市立 食肉 センター	日本ハム(株) 徳島工場 附設と畜場	眉山食品 (株)鳴門 食肉 センター	美馬食肉 センター
設置者	徳島市	日本ハム(株)	眉山食品 株式会社	中川 龍夫	株式会社 にし阿波 ビーフ	
所在地	徳島市不動本 町三丁目1724 -2	名西郡石井町高川 原字高川原838-1	鳴門市撫 養町南浜 字大工野 51-2	美馬市美馬町字 中須82-1	三好郡 東みよし町 足代890-3	
設置許可 年月日	昭和61年 12月18日	昭和49年 10月1日	平成28年 3月30日	平成24年 3月31日	平成28年 3月18日	
敷地面積	15,430㎡	71,824㎡	14,702㎡	2,227㎡	4,389㎡	
建築面積 (延)	7,830㎡	12,366㎡	2,995㎡	306㎡	1,335㎡	
処 理 数	大動物	150頭/日			11頭/日	27頭/日
	小動物	400頭/日	916頭/日	250頭/日		
汚 水 処 理	能力	1,200m <sup>3</sup>	2,000m <sup>3</sup>	800m <sup>3</sup>	44m <sup>3</sup>	
	処理 方式	活性汚泥法 (接触爆気 ・凝集沈殿)	活性 汚泥法	活性 汚泥法	活性 汚泥法	公共下水

## 第2章 と畜検査事業

# 1. と畜検査事業の概要

## (1) 検査頭数

令和元年度の検査頭数は、208,835頭（牛 5,715頭 とく 7頭 馬 68頭 豚 203,045頭）であり、対前年比 104%（牛 95% とく 64% 馬 89% 豚 104%）と増加した。

## (2) 時間外とさつ・切迫とさつ獣畜の検査状況

時間外と畜検査は平成 17 年 10 月 1 日より廃止されている。

切迫とさつは平成 7 年度より 0 頭である。

## (3) 検査結果による処分

### イ. とさつ禁止

牛 2 頭（敗血症 2 頭）、豚 15 頭（豚丹毒 10 頭、膿毒症 5 頭）の計 17 頭であった。

### ロ. 全部廃棄

牛 40 頭（牛伝染性リンパ腫 17 頭、敗血症 10 頭、水腫 10 頭、炎症又は炎症産物による汚染 1 頭、黄疸 1 頭、膿毒症 1 頭）、豚 209 頭（膿毒症 101 頭、敗血症 62 頭、水腫 16 頭、変性又は萎縮 16 頭、豚丹毒 8 頭、腫瘍 6 頭）であった。

### ハ. 一部廃棄

牛 3,263 頭（前年度比 85%）、豚 153,060 頭（107%）で牛豚ともに炎症に関連したものが多かった。

## (4) 保留検査頭数

と畜検査における保留検査実施頭数は 70 頭であり、検査結果に基づき 42 頭の全部廃棄処分を行った。保留理由の内訳は、牛では牛伝染性リンパ腫、高度の水腫、敗血症の順で多く、豚では敗血症、豚丹毒が多かった。

## (5) 衛生指導事業

平成 8 年に改正されたと畜場法施行規則に基づき、管内と畜場の衛生的な処理について、と畜場関係者と協議を重ね、適切な衛生管理の周知徹底を図った。

また、7 月から 8 月にかけて「と畜場衛生向上月間」の一環として、管内 5 と畜場において衛生講習会が実施された。

## 2.と畜場別検査状況

畜種 と畜場名	牛			※とく	馬	豚	めん羊・山羊	総計	検査日数
	肉用種	乳用種	小計						
徳島市立 食肉センター	4,155	1,100	5,255	7	68	24,369		29,699	244
日本ハム(株) 附設と畜場						153,227		153,227	243
眉山食品(株) 鳴門 食肉センター						25,449		25,449	244
美馬 食肉センター	61		61					61	46
株式会社 にし阿波 ビーフ	399		399					399	65
総合計	4,615	1,100	5,715	7	68	203,045		208,835	

### 3. 月別検査状況

と畜場	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	畜種													
徳島市立食肉センター	牛	527	365	372	518	408	408	417	522	599	364	348	407	5,255
	とく			1	1		1	1			2	1		7
	馬	5	9	5	5	6	7	6	4	8	4	3	6	68
	豚	2,326	1,892	1,750	2,111	1,782	1,444	2,328	2,207	2,364	2,170	1,997	1,998	24,369
	緬山羊													
	小計	2,858	2,266	2,128	2,635	2,196	1,860	2,752	2,733	2,971	2,540	2,349	2,411	29,699
日本ハム(株)附設と畜場	豚	13,352	11,758	11,181	13,758	11,626	11,116	13,404	12,842	13,892	14,456	12,485	13,357	153,227
	小計	13,352	11,758	11,181	13,758	11,626	11,116	13,404	12,842	13,892	14,456	12,485	13,357	153,227
眉山食品(株)鳴門食肉センター	豚	2,195	1,904	1,783	2,240	1,941	1,991	2,328	2,080	2,095	2,078	2,184	2,630	25,449
	小計	2,195	1,904	1,783	2,240	1,941	1,991	2,328	2,080	2,095	2,078	2,184	2,630	25,449
美馬食肉センター	牛	8	6	2	6	5	4	6	4	7	3	5	5	61
	とく													
	馬													
	小計	8	6	2	6	5	4	6	4	7	3	5	5	61
株式会社にし阿波ビーフ	牛	40	23	22	42	25	28	34	47	51	20	31	36	399
	とく													
	小計	40	23	22	42	25	28	34	47	51	20	31	36	399
総合計	牛	575	394	396	566	438	440	457	573	657	387	384	448	5,715
	とく			1	1		1	1			2	1		7
	馬	5	9	5	5	6	7	6	4	8	4	3	6	68
	豚	17,873	15,554	14,714	18,109	15,349	14,551	18,060	17,129	18,351	18,704	16,666	17,985	203,045
	緬山羊													
	計	18,453	15,957	15,116	18,681	15,793	14,999	18,524	17,706	19,016	19,097	17,054	18,439	208,835

#### 4.と畜検査結果に基づく処分

と畜場名	種別 畜種	とさつ禁止及び 解体禁止頭数	全部廃棄 頭数	一部廃棄頭数			
				肉	内 臓	肉及び内臓	計
徳島市立食肉センター	牛	2	39	90	2,476	473	3,039
	とく				2	5	7
	馬			18	11		29
	豚	2	27	69	19,745	300	20,114
	緬山羊						
	小計	4	66	177	22,234	778	23,189
日本ハム ㈱附設 と畜場	豚	13	148	503	112,304	1,481	114,288
	小計	13	148	503	112,304	1,481	114,288
眉山食品㈱ 鳴門食肉 センター	豚		34	60	18,453	145	18,658
	小計		34	60	18,453	145	18,658
美馬食肉 センター	牛			2	16	1	19
	とく						
	馬						
	小計			2	16	1	19
株式会社 にし阿波 ビーフ	牛		1	10	184	11	205
	とく						
	小計		1	10	184	11	205
総合計	牛	2	40	102	2,676	485	3,263
	とく				2	5	7
	馬			18	11		29
	豚	15	209	632	150,502	1,926	153,060
	緬山羊						
	小計	17	249	752	153,191	2,416	156,359

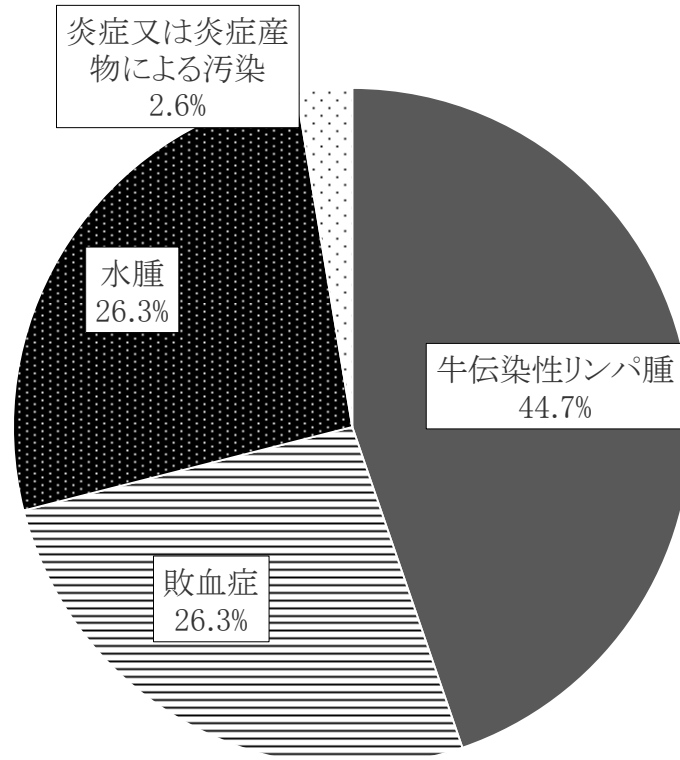


## 5. とさつ解体禁止及び全部廃棄の疾病別頭数

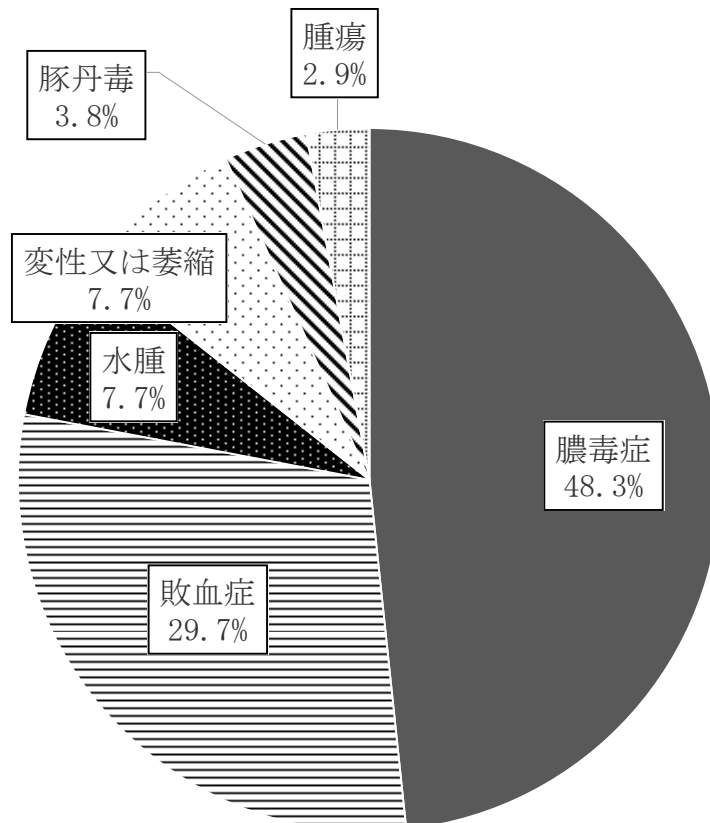
と畜場名	種別 畜種	行政処分 実頭数	総疾病数																	
			細菌病				原虫寄生虫病				その他の疾病									
			炭疽	豚丹毒	破傷風	サルモネラ症	その他	TP症	ジストマ病	囊中病	その他	膿毒症	敗血症	尿毒症	黄疸	水腫	腫瘍	中毒諸症	産物による汚染 炎症又は炎症	変性又は萎縮
徳島市立食肉センター	牛	とさつ禁止	2																	
		全部廃棄	39								1	10		1	10	16		1		
	とく	とさつ禁止																		
		全部廃棄																		
	馬	とさつ禁止																		
		全部廃棄																		
豚	とさつ禁止	2								2										
	全部廃棄	27								17	5			2				3		
日本ハム 附属設 と畜場	とさつ禁止	13		10						3										
	全部廃棄	148		8						74	44			4	6			12		
眉山食品 附属鳴門 食肉 センター	とさつ禁止																			
	全部廃棄	34								10	13			10				1		
美馬 食肉セ ンター	とさつ禁止																			
	全部廃棄																			
にし阿波ビーフ	とさつ禁止																			
	全部廃棄	1													1					
とく	とさつ禁止																			
	全部廃棄																			
総合計	牛	とさつ禁止	2																	
		全部廃棄	40								1	10		1	10	17		1		
	とく	とさつ禁止																		
		全部廃棄																		
	馬	とさつ禁止																		
		全部廃棄																		
豚	とさつ禁止	15		10						5										
	全部廃棄	209		8						101	62			16	6			16		

## 6. 全部廃棄処分の疾病別内訳

(牛)



(豚)



## 7. 病畜検査頭数及び精密検査件数

			牛	とく	馬	豚	緬山羊	計	
徳島市立 食肉 センター	検査頭数		5,255	7	68	24,369		29,699	
	病畜頭数		412	5	13	21		451	
	病畜頭数(%)		7.84%	71.43%	19.12%	0.09%		1.52%	
	精密検査	細菌	頭数	9			2		11
			件数	33			8		41
		ウイルス	頭数	9					9
			件数	88					88
		病理	頭数	10			2		12
			件数	93			15		108
		理化学	頭数	1					1
件数			1					1	
日本ハム 株附設 と畜場	検査頭数					153,227		153,227	
	病畜頭数					51		51	
	病畜頭数(%)					0.03%		0.03%	
	精密検査	細菌	頭数				48		48
			件数				150		150
		ウイルス	頭数						
			件数						
		病理	頭数				4		4
			件数				16		16
		理化学	頭数				6		6
件数						12		12	
眉山食品株 鳴門食肉 センター	検査頭数					25,449		25,449	
	病畜頭数					2		2	
	病畜頭数(%)					0.01%		0.01%	
	精密検査	細菌	頭数				13		13
			件数				29		29
		ウイルス	頭数						
			件数						
		病理	頭数				1		1
			件数				1		1
		理化学	頭数						
件数									
美馬食肉 センター	検査頭数		61					61	
	病畜頭数		2					2	
	病畜頭数(%)		3.28%					3.28%	
	精密検査	細菌	頭数						
			件数						
		ウイルス	頭数						
			件数						
		病理	頭数						
			件数						
		理化学	頭数						
件数									
(株)にし阿波 ビーフ	検査頭数		399					399	
	病畜頭数		12					12	
	病畜頭数(%)		3.01%					3.01%	
	精密検査	細菌	頭数						
			件数						
		ウイルス	頭数	1					1
			件数	2					2
		病理	頭数	1					1
			件数	8					8
		理化学	頭数						
件数									
総合計	検査頭数		5,715	7	68	203,045		208,835	
	病畜頭数		426	5	13	74		518	
	病畜頭数(%)		7.45%	71.43%	19.12%	0.04%		0.25%	
	精密検査	細菌	頭数	9			63		72
			件数	33			187		220
		ウイルス	頭数	10					10
			件数	90					90
		病理	頭数	11			7		18
			件数	101			32		133
		理化学	頭数	1			6		7
件数			1			12		13	

## 8. と畜検査の保留検査状況

保留理由	種類	保留検査実施頭数	全部廃棄数	廃棄数／保留検査数
尿毒症	牛			
	豚			
黄疸	牛	1	1	100%
	豚			
豚丹毒	豚	13	8	62%
敗血症	牛	7	6	86%
	豚	25	10	40%
腫瘍	牛			
	豚			
牛伝染性リンパ腫	牛	9	9	100%
白血病	豚			
水腫	牛	8	8	100%
	豚			
その他	牛			
	豚	6		
小計	牛	25	24	96%
	豚	45	18	40%
合計		70	42	60%

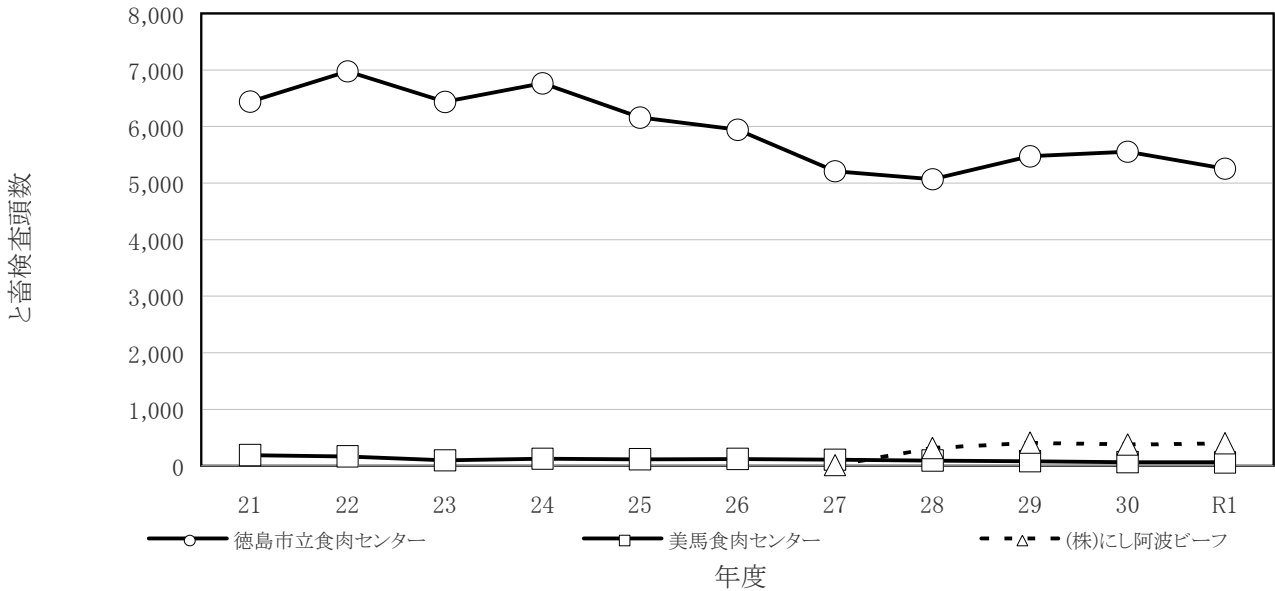
## 9. 残留抗菌性物質検査状況

検査項目	種類	検査頭数	陽性頭数
残留抗菌性物質	牛		
	とく		
	豚	6	
合計		6	

# 10.と畜検査頭数の推移

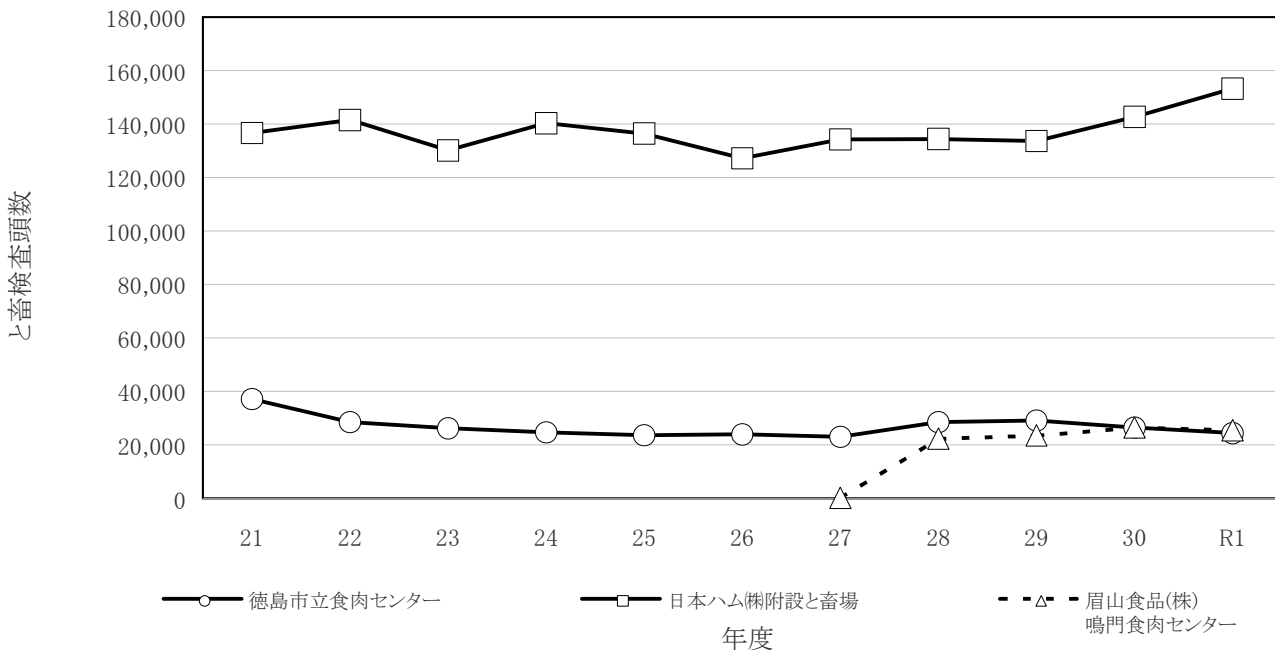
## (牛)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
徳島市立食肉センター	6,441	6,977	6,437	6,766	6,159	5,945	5,210	5,068	5,475	5,556	5,255
美馬食肉センター	190	167	97	125	116	121	109	93	81	65	61
(株)にし阿波ビーフ							12	315	411	379	399



## (豚)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
徳島市立食肉センター	37,128	28,504	26,176	24,659	23,575	23,928	22,984	28,499	29,082	26,455	24,369
日本ハム(株)附設と畜場	136,596	141,478	130,089	140,285	136,428	127,165	134,201	134,374	133,630	142,623	153,227
眉山食品(株) 鳴門食肉センター							202	22,326	23,521	26,471	25,449



## 第3章 畜水産食品等検査事業

## 1. 畜水産食品等検査事業の概要

食肉中の残留有害物質の排除及び食肉の微生物汚染の防止の徹底を図るため、各種の疾病診断、残留有害物質検査、残留動物用医薬品検査及び枝肉等の微生物汚染状況の検査を実施した。

### 細菌検査

と畜場の衛生確保対策の一環として牛・豚枝肉及び施設の拭き取り材料を検体とし、一般生菌、大腸菌群等の検査を実施した。

### 理化学検査

徳島県食品衛生監視指導計画に基づき、県内産の畜水産食品の残留動物用医薬品の検査を実施した。

### ウイルス検査その他

県内の野生鳥獣のE型肝炎ウイルス、食中毒細菌、リケッチア、寄生虫、放射性物質等の検査を実施した。

## 2. 畜水産食品等の試験検査件数

検査部門	牛	豚	その他	計
細菌検査	159	396	0	555
ウイルス検査他	146	0	218	364
病理学検査	0	0	0	0
理化学検査	26	50	90	166

### 3. 残留有害物質モニタリング検査件数

「徳島県食肉衛生検査所残留有害物質モニタリング検査実施要領」を定め、当所にて畜水産食品を対象に動物用医薬品等のモニタリング検査を実施した。

検査項目	種類	検査件数	陽性件数
残留動物用医薬品	牛	26	0
	豚	126	2
	鶏	60	0
	アマゴ	2	0
	アユ	2	0
	ハマチ	5	0
	ウナギ	4	0
	輸入肉	15	0
残留農薬	牛	0	0
	豚	0	0
	鶏	0	0
	その他 (シカ・イノシシ)	30	0
合計		270	2



#### 4. 枝肉及び施設等の拭き取り検査件数

衛生管理対策として、枝肉及び施設等の拭き取り検査を実施し、一般生菌数及び大腸菌群数の検証を行い、衛生管理指導の一助とした。

と畜場名	牛		豚		イシカシ
	枝肉	施設その他	枝肉	施設	部分肉
徳島市立食肉センター	126	0	66	0	
日本ハム(株)附設と畜場			66	0	
眉山食品(株)鳴門食肉センター			66	0	
美馬食肉センター	2	0			
(株)にし阿波ビーフ	14	0			
その他の施設					18
合計	308	0	288	0	50

#### 5. 放射性物質検査

食品の安全性の確保を目的として、平成23年12月に「ゲルマニウム半導体検出器」を新たに設置し、県内産及び指示自治体等から県内のと畜場に搬入され解体された牛の肉や県内に流通する食品を対象とし、これらに含まれる放射性物質について検査を実施した。

検査件数

品目	検体数	違反検体数
魚介類	8	0
魚介類加工品	5	0
肉卵類,その加工品	12	0
乳製品	6	0
穀類,その加工品	6	0
野菜果物類,その加工品	52	0
菓子類	1	0
清涼飲料水	3	0
酒精飲料	0	0
缶詰瓶詰食品	0	0
その他の食品	23	0
シカ・イシ	32	0
総計	148	0

## 第4章 牛海綿状脳症対策事業

## 1. 牛海綿状脳症対策事業の概要

平成 13 年 9 月に我が国初の伝達性牛海綿状脳症（BSE）が確認されて以来，生産段階において牛の飼料規制，と畜場においては特定部位の除去と管理，BSE スクリーニング検査を行ってきた。

それ以降，新たな BSE に関する知見，平成 15 年以降出生の牛で BSE 発症が認められないこと等を踏まえ，人に対する BSE 感染リスク評価の見直しも行われ，対策にも変更が加えられてきた。

発生当初のスクリーニング検査対象は，食肉用に供される全ての牛であったが，平成 25 年 7 月から検査対象は 48 ヶ月齢超に変更された。

平成 29 年 4 月からは健康牛に対する BSE スクリーニング検査は廃止となり，生体検査において原因不明の神経症状または原因不明の全身症状を示す 24 ヶ月齢以上の牛について実施することとなった。

本県においても症状を呈する牛全てに BSE 検査対象牛チェックを行い，と畜検査の結果，令和元年度には BSE スクリーニング検査の対象となる牛はなかった。

と畜場において特定部位は除去・管理・焼却し，と畜検査の実施により，食肉の安全・安心の確保に努めた。

## 2. 牛海綿状脳症（BSE）スクリーニング検査件数

該当なし

## 3. めん羊・山羊の伝達性海綿状脳症（TSE） スクリーニング検査件数

該当なし

## 第5章 食鳥指導事業

## 1. 食鳥指導事業の概要

食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律（平成3年4月1日施行）に基づく食鳥検査については、徳島県知事指定検査機関である「公益社団法人 徳島県獣医師会・食鳥検査センター」に委任している。

県内の食鳥処理場は10施設であり、その内検査対象処理施設である大規模食鳥処理場が5施設、認定小規模処理施設が5施設となっており、令和元年度の食鳥処理羽数は約24,031千羽と前年比較し約172千羽の減少となった。

食肉衛生検査所は、食鳥肉の衛生確保を目的とし、食鳥処理場へ立ち入り監視を行い、施設設備の改善及び衛生管理指導を実施するとともに、収去検査による微生物検査や残留有害物質検査を実施し食鳥肉の安全と衛生確保に努めている。

また、食鳥検査に伴う精密検査実施規定により、食鳥検査の精度向上のための協力を行っている。

## 2. 食鳥処理施設

施設の種別		施設数
大規模 食鳥処理場	年間処理羽数1,000万羽以上の施設	0
	年間処理羽数500万羽以上の施設	1
	年間処理羽数100万羽以上の施設	4
	年間処理羽数30万羽以上の施設	0
認定小規模 食鳥処理場	とさつ及び内臓の摘出の両方を行う施設	3
	内臓の摘出のみを行う施設	2
計		10

平成31年3月31日現在

### 3. 食鳥処理の状況

(単位：羽)

		生 鳥 処理羽数	丸と体 処理羽数	丸と体 出荷羽数	とさつ解体 禁止羽数	廃 棄 羽 数
ブ ロ イ ラ ー	大規模食鳥処理場	23,644,086		36,147	100,903	386,716
	認定 小規模 食鳥 処理場	0	8,674	0	0	261
	内臓の摘出のみ を行うもの		0		0	0
	小 計	23,644,086	8,674	36,147	100,903	386,977
成  鶏	大規模食鳥処理場	305,615		0	3,226	3,997
	認定 小規模 食鳥 処理場	72,923	0	0	0	33
	内臓の摘出のみ を行うもの		0		0	0
	小 計	378,538	0	0	3,226	4,030
合  計	大規模食鳥処理場	23,949,701		36,147	104,129	390,713
	認定 小規模 食鳥 処理場	72,923	8,674	0	0	294
	内臓の摘出のみ を行うもの		0		0	0
	計	24,022,624	8,674	36,147	104,129	391,007

#### 4. 食鳥検査羽数及び食鳥のとさつ、内臓の摘出禁止又は廃棄したもの原因

		ブロイラー			成 鶏			計			
検査羽数		23,644,086			305,615			23,949,701			
		禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	
処分実羽数		100,903	162,568	224,148	3,226	3,997		87,820	143,627	262,058	
疾 病 の 別 の 羽 数	ウ イ ル ス ・ ク ラ ミ ジ ア 病	鶏痘									
		鶏伝染性気管支炎									
		鶏伝染性喉頭気管炎									
		ニューカッスル病									
		鶏白血病									
		鶏封入体肝炎									
		マレック病	110	6,822					110	6,822	
		その他									
	細 菌 病	鶏大腸菌症	46	42,180			253		46	42,433	
		伝染性コリーザ									
		家きんサルモネラ症									
		鶏ブドウ球菌症		45			9			54	
		その他									
	そ の 他	毒血症									
		膿毒症									
		敗血症		818			15			833	
		真菌症									
		原虫病 (トキソプラズマ病を除く)			1,127						1,127
	羽 の 疾 病	寄生虫病								91	28
		変性	34,444	45,734	47,990		129		34,444	45,772	47,962
尿酸塩沈着症				3						3	
水腫		5	24	9		1		5	25	9	
腹水症		10,346	31,301			435		10,346	31,736		
出血		1	1,070	16,418		77		1	1,147	16,418	
炎症		12	14,129	153,797		938		12	15,067	153,797	
萎縮			19	4,538					19	4,538	
腫瘍		1	1,265	40		1,797		1	3,062	40	
臓器の異常な形等			48			1			49		
疾 病 の 数	異常体温										
	黄疸	12	386			2		12	388		
	外傷		12	202		4			16	202	
	中毒諸症										
	削瘦及び発育不良	47,122	13,559		2,788	302		49,910	13,861		
	放血不良	8,575	2,411		430	30		9,005	2,441		
	湯漬過度	44	918					44	918		
	その他	185	1,827	24	8	4		193	1,831	24	
計	100,903	162,568	224,148	3,226	3,997		104,129	166,565	224,148		

## 5. 許可，変更，認定等の件数

区分	施設数	許可件数	休・廃止 件数	変更件数	確認規程 認定件数	確認規程 廃止件数	衛生管理者 配置・変更人 数
大規模 食鳥処理場	5	0	0	0			11
認定小規模 食鳥処理場	5	0	0	0	0	0	0
計	10	0	0	0	0	0	11

令和2年3月31日現在

## 6. 指導等の状況

(単位：件数)

区分	指導件数			法第20条の措置		
	監視件数	指導件数	指導票 交付数	とさつ等 の禁止	消毒等 の命令	廃棄等 の措置
大規模 食鳥処理場	48	14	0	0	0	0
認定小規模 食鳥処理場	18	1	0	0	0	0
計	66	15	0	0	0	0

## 7. 収去検査等の状況

区分	収去検査			その他の 採取方法による検査	
	検体数	細菌検査	残留抗生物質 検査	細菌検査 検体数	その他 件数
大規模 食鳥処理場	20	0	20	60	38
認定小規模 食鳥処理場	0	0	0	0	0
計	20	0	20	60	38

## 8. 精密検査件数

令和元年度は収去・拭取検査以外に食肉衛生検査所職員による食鳥検査に係わる精密検査の実施はなかったが、食鳥検査員による検査が実施された。

食鳥検査員による精密検査室使用日数は23日であった。(病理検査室使用23回、微生物検査室使用3回、理化学検査室使用3回)



## 第6章 調査研究・啓発事業等

# 1. 研修・学会等の状況

令和元年度

8月 令和元年度四国4県食品衛生監視員研修会（徳島）

「と畜場において豚の椎骨に黄変が認められた一例」

「イムノクロマト法を用いた食肉中残留抗生物質の迅速検出について」

9月 令和元年度全国公衆衛生獣医師協議会（東京）

「四国で初めて検出されたシカにおける槍形吸虫の分子系統解析について」

第70回四国地区獣医師記念大会及び令和元年度獣医学術四国地区学会（高知）

「豚の投薬治療による薬剤耐性菌出現が疑われた一例」

10月 第30回全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会（香川）

「残留抗菌性物質簡易検査法における検出下限値の検討」

「 $\beta$ アゴニストに対するスクリーニング検査実施の試み」

令和元年度全国食品衛生監視員研修会（東京）

「イムノクロマト法を用いた食肉中残留抗生物質の迅速検出について」

11月 第76回全国食肉衛生検査所協議会病理部会（神奈川）

「豚の左大腿部腫瘍」

## 2. 啓発事業等の状況

### 1) 衛生講習会

管内と畜場の設置者・管理者が実施する講習会に出席し、作業従事者等に対し衛生講習を実施した。

### 2) 公衆衛生分野のインターンシップ事業

食肉衛生検査所をはじめとした公衆衛生獣医師の業務に理解や興味をもってもらい、また食肉の安全・安心に関する正しい知識の啓発のためにインターンシップ事業を実施した。

(参加者)

栄養学科の大学生 (73名)

獣医学科の大学生 (8名)

### 3) と畜場・食鳥処理場HACCP推進事業

HACCPシステムをと畜場・食鳥処理場に導入することによって衛生管理を高度化し、さらに「徳島県衛生管理認証（徳島県版HACCP認証制度）」に基づく認証を推進するため、講習・技術研修会・衛生指導等を実施した。現在、県内と畜場4カ所及び大規模食鳥処理場5カ所がHACCPシステムを導入している。

各と畜場の担当者会議における衛生指導（週1回～月1回）

徳島県食鳥処理場HACCP推進協議会総会（7月）

徳島県食鳥処理場HACCP推進協議会総会（7月）

〃 技術研修会（2月）

食鳥処理衛生管理者研修会（2月）